

子の非行 悩む親語らう

高崎で月1回の会「からっ風」

子どもの非行や問題行動と親はどう向き合うべきなのか。同じ立場の親たちが集まり、話し合う会「からっ風」が毎月1回、高崎市で開かれている。少年院に入るなど非行経験者の話を聞く機会もある。悩みを打ち明けたり、共感したりしながら自分を見つめ直し、親子関係が変わるきっかけにもなっている。

話して自分見つめ直す

「娘の化粧はすごい」
16日午後、高崎市中央公民館。埼玉県の50代女性が、夫と参加した例会で高校3年の娘のことを他の4人の参加者に話していた。

中学3年の時、娘は髪の毛を茶色に染め、家出をしたり、学校に行かなくなったりした。親子関係は悪化し、追い詰められた。

参加当初は泣きっぱなしだった。ただ、月に1回話すことで「発散でき、娘への態度も変わる。おおらかにになれる」という。

県内在住の40代女性は息子のことを相談できずにいた。中学では、たばこを吸い、深夜に散歩、万引きもした。高校に進学せず、暴走族になり、暴走行為で傷害事件で少年院に入った。女性は外を歩くのが恥ずかしく、遠くのスーパー

に買い物に行った。親の責任と非難されるのも不安だった。「親の会で、初めて他人に相談できた」



悩みを話し合う親子
ち=高崎市末広町

会は、2011年に代表の内山平蔵さん(54)夫婦が発足させた。例会は第3土曜日に開かれ、毎回2、3



少年に話しかける岩出博幸さん(右)と内山平蔵さん(左) =高崎市八島町

世帯5人ほどが集まる。内山さん自身も、同じ悩みを抱える親と話すことで救われた。娘を厳しく育てたが、中学の時に万引きし、その後、不登校になった。東京の同様の会に参加したことが、会を立ち上げるきっかけだ。「話すことで自分を見つめ直す。ネガティブなことこそ、話をしてほしい」と内山さんは呼びかけている。

強をしないと暴力を振るった。殺されると思った。「おまえなんて必要じゃない。死んじまえ」と繰り返した。小学4年の時、自殺を図った。

中学では、家出、万引き、自転車窃盗を繰り返して、少年院に。19歳の時は傷害罪で少年院に入った。覚醒剤を使い、売人をしたこともあり、20歳ごろは暴力団員の準構成員。5回起訴され、刑務所には2回計約8年間、服役した。

母の死や刑務所で聖書を読んだことを機に何度も立ち直ろうとした。非行と向き合う親たちの会などで自らの経験を語ることで、自分を見つめ直した。自分の経験が役に立つて欲しいという思いもあり、積極的に参加している。

かつて罪 経験役立てて

からっ風では、非行経験者のアドバイスをもらう機会も作る。「親の多くは非行経験がない。『自分はま

じめにやってきたのに、どうして』と思う。経験者の話を直接聞くことで安心して

少年院や刑務所を経験した、さいたま市の岩出博幸さん(54)もその一人だ。開業医の父は、酒乱で勉

昨年7月、さいたま市で教会関係者らと一足長おっちゃん(の会)を立ち上げた。少年院に障害者支援施設で作ったクッキー、詩集などを差し入れる。

土曜日の夜には内山さんと高崎駅周辺で、少年たちに自分の経験を語る活動をして

している。岩出さんは「自分の人生を、生きやすいように生きるきっかけを作りたい。おせっかいな、おっちゃんでいたい」

からっ風の次回例会は5月21日午後1時半〜4時半。問い合わせは内山さん(平日午後8時以降は09・0・6170・02567、もしくは uchiyama.heizou@gmail.com)。(伊藤 義利)

講師 大募集!!

～教科・学年(コース)より自由に選出可～

仕事内容: 低学年(少人数制)の指導(科目より可)
 (専任講師(正社員)、非常勤講師(準社員))
 学年数: 1年(1級) 2年(2級) 3年(3級) 4年(4級)
 高学年コース 高校生コース
 中・小学生コース 英語 英語生コース

条件: 大学卒業以上、経験者優遇
 勤務時間: 月1〜2回、30〜230分で選出可
 1コマ(50分)
 給与: 年給制

BESS 高崎展示場

自宅向けログハウスをはじめ、個性的な木の家5棟をご見学いただけます。

〒370-0902 群馬県高崎市日高町1052-1
 Tel.027-364-5123

■営業時間: AM10:00~PM6:00 ■定休日: 水曜日
 ■交通: 車: 高崎自動車道 高崎ICより約5分

BESS高崎 (株) BESS群馬